

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		わくわく子供ひろは坂の上				公表日		2025年2月28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				パーティションを利用して活動スペースを分けるなどしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2			マンツーマン対応が必要な児童がいる日や職員の急な体調不良などで欠勤者がいると不十分さを感じることがあります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		パーティションを利用して活動スペースを分けたり、視覚的に理解しやすくなるよう工夫をしています。	生活空間が一つの空間になっているため、パーティションだけでは何をやる空間かが分かりづらく落ち着かない児童がいる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	3			掃除が行き届いていない場所があります。収納スペースの確保が難しく、物であふれてしまっているので、整理整頓を心掛け、快適に過ごせるようにします。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			クールダウンや集中できる部屋を用意しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2			評価表による意向等を把握し、業務改善に努めていくことが今後の課題です。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		外部評価をしていただき、業務の改善に努めています。	評価結果を改善につなげていきたいです。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6			毎月全員が研修を受ける機会を設けられており、講師をお呼びしての研修も開催されています。			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			事業所内に掲示、インスタやブログへの公表がされています。	保護者の方への周知がされていないので、周知していただけるようにします。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1			適切なアセスメントと分析をする時間の確保が課題です。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2			全員の共通理解は難しさを感じます。また、一人ひとりの検討をじっくり行う時間の確保も難しいことがあるので、短時間でも全員で共通理解を図れるよう工夫していくようにします。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1			全員への共有が不十分な時があるので、きちんと共有できるように対策を講じていきます。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6						
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			全員で意見を出し合い、プログラムを考えております。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			五領域を考慮した多岐にわたるプログラムを考え、固定化しないようにしております。	もっと様々な課題に合わせたプログラムを柔軟に提供できるよう、努めていきます。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		マンツーマン対応が必要な利用者が重なった際、職員体制によって個別活動の支援が不十分な時があるため、職員の確保が課題であると考えます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			まとまった時間の確保はできないので、短時間で確実に確認できるようにしたいです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			まとまった時間の確保はできないので、短時間で確実に確認できるようにしたいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的に行えないこともありました。時間の確保が課題です。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1		まだ支援者側に改善すべき点があるのが現状です。支援の質を上げられるよう努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		相談支援専門員さんのご協力の下、関係機関の方々と連携しての支援ができております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		各学校様にもご協力いただいております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			まだ対象者はおりませんが、移行の際は情報提供などのご協力はいたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		コロナ過以降は積極的な交流の機会はありませんが、公共施設や公園等で一緒に遊んだり活動する機会はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎の際に情報共有を行っている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		全体での家族支援プログラムが実施できていないため今後実施するよう検討します。	
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		全てのご家族に対して行うことができませんでした。ご予約をしていただいての相談も可能ですので、保護者の皆さんに周知したいと思います。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		父母の会の活動はありませんが、行事で保護者同士や兄弟同士が交流できる機会を設けています。	現在のところ、そういった交流ができるのは運動会のみですので、今後は機会を増やしていきたいと思っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			今後は公式のLINE等でも情報の発信を強化していくようにします。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		まだ不十分な場面もありますので、改善策を講じます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		コロナ過以降そのような行事は行われておりませんが、状況に応じて考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		ご家族への周知ができていないので、周知していただけるようにします。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			訓練実施の回数を増やすよう検討します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		ご家族への周知が完全ではおられませんので、周知する機会を設けます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		再発や大きな事故が起きないようヒヤリハットの出来事を共有し、方策を検討するようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		研修会を年に数回行い、日頃から対応についての話し合いをするなど意識を高めております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			対象の児童はおりませんが、万が一身体拘束を行う場合はきちんと対応を行います。	